

令和 8 年度全体委員研修会企画の方向性について（まとめ）

区名	設問 1	設問 2	その他
北区	体験型	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所受付システム体験 ・新潟県公式アプリ「新潟県防災ナビ」の使い方を体験 ・防災士による講演：東日本・熊本・能登など、実際の避難所開設・運営について、時系列でどのように機能が整って行ったのか知りたい。（本音の話を聞きたい…防災士の言いたいことを一方的に聞かされたが、自分で色々判断する情報を聞きたい） ・次次年度は方向性 2 が良いです 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治協議会委員の一体感を醸成するような研修が出来ればいいですね。 ・その意味で、各区事務局が区自治協議会に対してどのように思っているのか発言の機会が有っても面白い…興味があります
東区	講演型	<p>講義は難しいと頭に入ってこない。 建前論より、すぐ実践で使えるようなテーマが良い。 「現代における子どものこころ（考え方）と地域とのつながり」や「子どもと関わる とき気を付けた方が良いポイント」など。</p>	
中央区	体験型	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所受付システム体験 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の防災士にも参加をお願いして、地域の自主防災訓練時に実際にシステムを活用できるようになるまでレクチャーしていただけるとありがたいです。
江南区	講演型	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の交通機関、手段のあり方を考える。 ・効果的な魅力発信の方法などの成功例を知りたい。 	
秋葉区	両方可	<p>【体験型】正直なところ、どちらもよいと思います。ただ、1の方向性ならば、より具体的に生活者目線で考え合い、地域に情報をもって帰れるところまでを目的にして実施してはどうかと思っております。</p> <p>【講演型】合同会社コトプレイス 川口義洋氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民連携・公共施設の利活用等、実践例が多く、地域における事業運営に詳しいため。 ・地域コミュニティ協議会が自立的に運営・経営していくための方策について意見交換できるとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難後の健康維持の視点として、新潟県歯科医師会が所有する災害検診車の活用も検討していただきたい。 ・災害前の備えとして、具体的な備品、避難経路を自分たちの生活状況・地理的な条件から考えられるとよい。（一昨年のお正月の地震後に、乳幼児の保護者が最低限何を備えておけばよいのか、乳幼児を抱えながら持ち出すものはなにか、どこから逃げたらよいか心配になっていた） ・災害後の申請制度についても情報提供があるとよいのではないかと。（西区、西蒲区で大きかった住宅被害等の後の手続きで困っている方がいたため。）
南区	体験型	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレトレーラーの仕組み、処理能力等知りたいです。 ・避難所受付けシステムも興味あります。 	
西区	講演型	<p>去る11月26日（水）、黒崎市民会館ホールで「新潟市西区と大河津分水」と題して講演会があり素晴らしいお話でした。講師は、信濃川大河津資料館コーディネーターの樋口勲様でした。「地域がつながる（あるいは地域はつながっている）」という意味で、新潟市の自治協全体での講演を希望します（大河津分水に関して）</p>	<p>あと 2 年程で、新潟市が「政令市」となって 20 年となります。他の政令市を含めて、新潟市がどのような位置づけなのか、新潟市としての役割などを知りたいと思っています。また、他政令市で「自治協」はどのような役割を担っているのでしょうか？可能な範囲で教えていただければ幸いです。</p>
西蒲区	体験型		<p>体験型はよいと思います。起震車がこられるといいですね。</p>